



## 2023年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月11日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 和也

TEL 050-3539-1122

四半期報告書提出予定日 2023年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	15,700	18.2	984	4.8	1,017	20.6	634	24.4
2022年10月期第3四半期	13,285	70.3	1,034	—	1,280	—	840	—

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 636百万円 ( 31.4%) 2022年10月期第3四半期 926百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	21.79	
2022年10月期第3四半期	28.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	18,523	9,337	50.2
2022年10月期	20,251	9,170	45.1

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 9,303百万円 2022年10月期 9,139百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		10.00	10.00
2023年10月期		0.00			
2023年10月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年7月31日開催の取締役会において、2023年10月31日を基準日とする期末配当予想を修正(増配)することを決議いたしました。詳しくは、2023年7月31日に公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,780	14.3	2,200	21.6	2,230	6.4	1,500	7.2	51.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期3Q	29,956,800 株	2022年10月期	29,956,800 株
期末自己株式数	2023年10月期3Q	645,632 株	2022年10月期	427,349 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期3Q	29,134,156 株	2022年10月期3Q	29,438,879 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年11月1日から2023年7月31日まで)におけるわが国経済は、2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に移行しました。それに伴い、法的な行動制限はなくなり、急速に社会経済活動の正常化が進み、国内景気は緩やかに持ち直しの動きがみられております。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢など地政学的リスクに加え、円安の進行による急激な資源価格の高騰など、世界規模で経済的リスクが高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、社会経済活動の正常化に伴い集客イベント等も再開され挙式・披露宴の施行数は漸増傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、引き続きお客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、最大限の感染防止対策を徹底した上で挙式・披露宴を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,700百万円(前年同四半期比18.2%増)、営業利益は984百万円(同4.8%減)、経常利益は1,017百万円(同20.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は634百万円(同24.4%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 婚礼事業

新型コロナウイルス感染症による様々な規制が緩和されるなか、引き続き感染防止対策を徹底したうえで挙式・披露宴を実施してまいりました。また、当連結会計年度(2023年4月)に「The迎賓館 偕楽園 別邸」(水戸支店)をオープンいたしました。

その結果、売上高は15,019百万円(前年同四半期比17.0%増)、営業利益は1,070百万円(同1.9%増)となりました。

#### ② 介護事業

当連結会計年度(2023年3月)に「アイケアライブ伊万里」(伊万里2号店)がオープンしたこと等により売上高は432百万円(前年同四半期比6.1%増)となりましたが、開業費用等により営業損失は6百万円(前年同四半期は2百万円の営業利益)となりました。

#### ③ 食品事業

売上高は186百万円(前年同四半期比53.8%増)、営業利益は49百万円(同77.6%増)となりました。

#### ④ フォト事業

前連結会計年度(2021年11月)にフォト事業を展開する子会社を設立し、当連結会計年度(2023年3月)に「studio clori.NAGOYA」(名古屋支店)をオープンいたしました。

その結果、売上高は183百万円となりましたが、開業費用等により営業損失は84百万円(前年同四半期は27百万円の営業損失)となりました。

#### ⑤ 結婚仲介事業

前連結会計年度(2021年11月)に結婚仲介事業を展開する子会社を設立し、売上高は8百万円(前年同四半期は0百万円の売上高)、営業損失は45百万円(同18百万円の営業損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,727百万円減少し18,523百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,600百万円減少し、有形固定資産が1,051百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,895百万円減少し9,185百万円となりました。これは主に、短期借入金が2,005百万円、買掛金が198百万円、未払法人税等が776百万円、流動負債その他が821百万円それぞれ減少し、長期借入金1,877百万円、資産除去債務が131百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ167百万円増加し9,337百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益634百万円の計上による増加、剰余金の配当299百万円による減少の他、自己株式の取得及び売却により自己株式が170百万円減少したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.1ポイント上昇し50.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,891,686	3,290,813
売掛金	459,639	338,810
商品	240,238	203,975
原材料及び貯蔵品	82,897	82,250
その他	537,053	803,127
貸倒引当金	△7,974	△6,156
流動資産合計	7,203,541	4,712,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,794,750	9,122,527
土地	1,850,919	1,850,919
その他(純額)	637,344	361,204
有形固定資産合計	10,283,014	11,334,651
無形固定資産	160,306	169,099
投資その他の資産		
差入保証金	1,447,559	1,335,086
その他	1,157,087	971,910
投資その他の資産合計	2,604,647	2,306,997
固定資産合計	13,047,967	13,810,748
資産合計	20,251,509	18,523,569
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	853,784	655,550
短期借入金	2,150,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	774,796	1,117,933
未払法人税等	785,757	8,858
賞与引当金	296,569	187,335
その他	2,743,857	1,922,012
流動負債合計	7,604,765	4,036,689
固定負債		
長期借入金	1,877,328	3,411,528
退職給付に係る負債	34,284	29,983
ポイント引当金	14,663	14,883
資産除去債務	1,064,951	1,196,252
その他	485,450	496,489
固定負債合計	3,476,677	5,149,136
負債合計	11,081,442	9,185,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	347,861	348,488
利益剰余金	8,629,766	8,965,618
自己株式	△252,415	△422,560
株主資本合計	9,076,868	9,243,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,797	11,098
退職給付に係る調整累計額	14,183	11,853
為替換算調整勘定	33,214	37,592
その他の包括利益累計額合計	62,194	60,544
非支配株主持分	31,004	33,997
純資産合計	9,170,067	9,337,744
負債純資産合計	20,251,509	18,523,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上高	13,285,308	15,700,559
売上原価	5,448,824	6,610,209
売上総利益	7,836,483	9,090,349
販売費及び一般管理費	6,802,154	8,105,682
営業利益	1,034,328	984,667
営業外収益		
受取利息	7,767	9,321
受取保証料	18,043	16,060
雇用調整助成金	222,314	—
その他	21,520	30,167
営業外収益合計	269,645	55,549
営業外費用		
支払利息	12,134	14,225
リース解約損	5,840	—
その他	5,649	8,907
営業外費用合計	23,623	23,132
経常利益	1,280,350	1,017,083
特別利益		
補助金収入	—	119,621
特別利益合計	—	119,621
特別損失		
固定資産除却損	7,845	24,198
特別損失合計	7,845	24,198
税金等調整前四半期純利益	1,272,504	1,112,507
法人税、住民税及び事業税	426,373	301,624
法人税等調整額	8,946	173,405
法人税等合計	435,319	475,029
四半期純利益	837,185	637,477
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,007	2,583
親会社株主に帰属する四半期純利益	840,192	634,894

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	837,185	637,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,115	△3,699
退職給付に係る調整額	△3,680	△2,223
為替換算調整勘定	65,272	4,682
その他の包括利益合計	89,708	△1,240
四半期包括利益	926,893	636,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	924,300	633,244
非支配株主に係る四半期包括利益	2,592	2,993

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。